

単元名 米作りのさかんな地域

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 日本の米作りは、自然条件と深い関わりがあることや、農家の人々の工夫や努力を理解するとともに、地図帳や各種資料で調べ、新聞などにまとめることができる。
- (2) 米の生産の分布や生産量、作業工程、技術の向上、輸送、人々の協力関係などに着目し、米の生産の概要と農家の人々の工夫や努力を捉え、米の生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。
- (3) 米の生産の概要や農家の人々の工夫や努力などについて、学習問題の解決に向けて意欲的に追究しようとする。

標準的な展開例

05030106_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 食生活と米との関わりについて話し合い、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○米について知っていることを発表する。 ○米の産地について調べ、話し合い、単元の学習問題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・北海道や新潟県が生産量が多い ・寒い地域での米作りが盛ん <p>★米はどのように作られ、わたしたちのもとに届くのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習問題について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・近くにあるような田んぼで、農家の人が作っている ・できた米は農家の人が運んでいると思う ○予想を基にして、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる内容…米の生産地、自然条件、米の作り方、米作りを支える人々、米の輸送経路 ・調べる方法…教科書、図書資料、インターネット ・表現の仕方…新聞 <p>2 山形県庄内平野の米作りについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○庄内平野の土地利用について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・平野が広がっていて、ほとんど田で利用されている ・長方形の田がきれいなになっている ○鶴岡市と気仙沼市の日照時間と平均気温を比べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市より夏の日照時間が長い ・気仙沼市より気温が高い ○調べたことを基に、庄内平野で米作りが盛んな理由を考え、まとめる <ul style="list-style-type: none"> ・夏に晴れの日が多くなるから ・川があって水が豊富 <p>3 米の作り方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○米作りに必要な作業を予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・田植え ・稲刈り ○農事ごよみで米作りの1年を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月に田植えをする ・9月～11月にかけて稲刈りや出荷をする ○米作りにおける工夫や努力を調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・丈夫な苗を育てる ・きめ細かく水の管理をする <p>4 ほ場整備と機械化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業機械の広まりと耕作時間の変化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・年間耕作時間はどんどん少なくなっている ・農機具にかかる費用や共同の農業施設や機械などにかかる費用の割合が多くなっている ○機械化による米作りの変化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・機械にかかるお金が負担になる ・他の農家と協力することで、かかる費用を減らしている ○ほ場整備前後の写真を比べて気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備後は田の形が整っている ・ほ場整備後は通路の幅が広がっている ○ほ場整備を行った理由について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・機械を使いやすくするため 	<ul style="list-style-type: none"> ・前単元を活用し、米を食べることが多いことに気付かせる。 ・日本では、米を主食としてきたことや米を使った製品が多いことを押さえておく。 ・教科書P.76「米の生産量と作付面積」を基に話し合わせる。 ・米は熱帯原産の植物であるにもかかわらず、日本では寒い地方で多く作られていることに気付かせる。 ・前単元「食生活を支える食料の産地」で作成した「産地マップ」を活用してもよい。 <p>【評】米作りについて話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.74～88で、学習の内容を大まかにとらえさせる。 ・振り返りシートで表現させてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.78～80の土地利用図や写真資料から読み取らせる。 ・地図帳P.45も活用させる。 ・教科書P.81の二つのグラフの読み取り方を確認してから取り組ませる。 <ul style="list-style-type: none"> ・庄内平野の地理的条件や気候条件が米作りに適していることを押さえる。 <p>【評】米作りが盛んな理由を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.82～83の各種資料を活用し、作業順序を確認させる。 ・教科書P.83「米作りの農事ごよみといねの生長」を基に、調べさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.82「米農家の五十嵐さんの話」も参考に、農家の方が米を生産するために一年間努力していることに気付かせる。 <p>【評】米作りの1年や農家の工夫、努力を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書P.84「山形県の10aあたりの年間耕作時間のうつり変わり」「10aの水田にかかる1年間の費用の内わけ」のグラフから、機械化の広まりと耕作時間の変化の関連を考えさせる。 ・教科書P.84「米農家の五十嵐さんの話」を参考にさせて考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・田や周りの様子に注目させ、形をそろえる理由を予想させる。 ・ほ場整備を行うことで作業効率が上がることを捉えさせる。

<ul style="list-style-type: none"> ・用水路や排水路を整えるため 5 米作りを支える人々の仕事について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ○庄内平野で作られている米の品種について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・昔は、ササニシキが多かった ・現在は、はえぬきが多く作られている ・2016年には、つや姫という米が新しく加わっている ○「つや姫」ができるまでと特長を調べる。 ○品種改良に携わる人々の工夫や努力について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・冷害に強い米を作り出している ・さまざまな検査をして、品種改良を行っている ○化学肥料とたい肥の違いについて調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料は安くて効き目が早いが、自然や人体への影響が出ることが心配されている ・たい肥は高く効き目もゆっくりだが、水はけや水を保つ力が高まり、利用が増えている 6～7 単元の学習を振り返り、日本の米作りについてまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ○消費者に米が届くまでの経路や工夫について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・各地のJAを通す場合もあれば、農家から直接販売することもある ・米の味が落ちないように、輸送方法や保管方法を工夫している ○米作りの過程や農家の人々の工夫や努力、米の生産とわたしたちの生活の関わりを新聞にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「品種」の意味を押さえておく。 ・教科書P. 86「庄内平野のおもないねの品種別作付面積のわりあいの移り変わり」のグラフから読み取らせる。 ・「品種改良」について補説する。 ・教科書P. 87の写真や「水田農業試験場の渡部さんからのメール」を参考にさせる。 ・教科書P. 87「化学肥料とたい肥のちがひ」や本文の記述を基に、調べさせる。 ・教科書P. 88「庄内米の地方別出荷量」「米がわたしたちにとどくまで」や本文の記述を基に調べさせる。 ・米の生産がわたしたちの生活を支えていることを考えさせたい。 【評】新聞にまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 【評】米の生産とわたしたちの生活との関連を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
--	---

【 備 考 】